

# 監督会議資料(秋季)

平成30年9月15日(土) 時間: 8:30～ 場所: 会議室

- 選手変更及びミスプリント、選手の棄権について  
団体3名での出場・・・男子: 高知、須崎、中村 女子: 宿毛、幡多農
- 競技規則について
  - ルールは、現行の日本卓球ルールを適用する。
  - 接着剤の使用は、所定のラバー貼替所(体育館入口)でのみ許可する。
  - 学校対抗戦ならびに個人戦ダブルスにおいては、ユニフォームを統一すること。
  - タイムアウトは、すべての試合で認める。
  - アドバイザーについては、要項に記載している規定を遵守すること。
  - ポイント決定後の次のサービスやレシーブについては、速やかに行うこと。
  - ラケット検査については、適宜行います。
  - 足拭きタオルの使用については、タオル使用の6ポイントごととし、競技継続の妨げとならないようにする。また、副審側の自分の領域に(机の横付近で競技の妨げとならない場所)ビニールを敷いてその上に置く。
- 競技の進行について
  - 15日(土) 学校対抗予選リーグ→学校対抗決勝トーナメント13:00(予定)→  
学校対抗決勝・順位決定戦までとダブルス。  
※ただし、ダブルスは団体予選終了後、試合可能などから入れていく。決勝トーナメントと平行して入れていく。(ダブルス最終コール16:00予定、男子ベスト16、女子ベスト8決定を目標)
  - 16日(日) ダブルス決勝まで、シングルス決勝まで  
※シングルのコンソレーション(敗者試合)を行う。抽選は当日会場で行う。
  - 学校対抗戦の予選リーグ及び決勝トーナメントは2コートを使用する。
  - 試合順序(学校対抗)
    - 3チームのリーグ戦  
第1試合: 2-3 第2試合: 1-(第1試合の敗者) 第3試合: 1-(第1試合の勝者)
    - 4チームのリーグ戦  
第1試合: 1-4、2-3  
第2試合: (1-4の勝者)-(2-3の敗者)、(1-4の敗者)-(2-3の勝者)  
第3試合: 残りの試合
  - 試合は全て3点先取とする。
  - 学校対抗戦は、A、Bグループからは1・2位チームが、その他のグループは1位チームが決勝トーナメントに進出する。  
決勝戦と並行して順位決定戦を行う場合がある。(四国選手権代表決定戦)  
前年度四国卓球選手権大会ランキング上位8チームが推薦、推薦を除き2校が出場できる。  
推薦出場校: 男子 明德、女子 明德
  - 16日(日)の朝は、競技に先立って学校対抗の部の表彰を行う。
- 審判について
  - 学校対抗の部
    - 学校対抗戦の予選リーグ  
3チームのリーグ: 試合を行っていないチームが審判をする。  
4チームのリーグ: 相互審判で行う。
    - 決勝トーナメント 第1試合は相互審判で行い、その後は敗者審判とする。  
決勝戦と順位決定戦は相互審判。
  - 個人戦の部
    - 各コートの第1試合は、相互審判で行い、その後は敗者審判とする。
    - 勝者は、試合結果を進行席へ報告し、敗者はコートに残って次の試合の審判を行う。
- その他
  - 水分補給等の体調管理をしっかりすること。(くれぐれも無理をしないこと)
  - 試合進行に協力すること。(試合の打ち切り、棄権等になる場合もあります。)  
①ベンチコーチ1分 ②コール後5分以内に試合開始 ③試合後速やかに勝者は本部へ結果報告
  - 練習について 9月15日(土) 台だしの後～8:50  
9月16日(日) 8:00～8:50
  - 開会式(15日9時00分)は、各校1列縦隊で整列すること。
  - 貴重品の管理、ゴミの処理、上下靴の区別は、各校で責任をもって行うこと。
  - ベンチコーチは、団体戦、個人戦共に1名とし、途中交代は認めない。  
\*16日シングルのコンソレーションゲーム(初戦で負けた選手が参加できる)を行う。  
参加希望者は、進行席へ申し込みに来ること。

(7) 四国選手権大会は1/26・27、愛媛県総合運動公園にて開催。  
要項は後日送付します。

## 6. 連絡事項

### (1) 全国選抜大会の四国枠

H30年度	男子4	女子3	(男子が希望枠+1)	北九州市
-------	-----	-----	------------	------

H31年度	男子3	女子4	(女子が希望枠+1)	千葉県
-------	-----	-----	------------	-----

※(四国選抜予選：2/3、香川県三豊市)

### (2) 全国新人合宿について

※全国新人合宿の参加申し込み期限(11/7)が、冬季大会(新人戦11/18)以前であるが、女子については、IH学校対抗第3位の明德以外から選出。男子については、新人合宿参加制限の『全国高等学校冬季合宿』に参加する選手が手塚、内田、藤木(以上明德)と決定しているため、それ以外の選手で、秋季大会の結果を以って、規定どおりの選考で決定する。その規定で決まらない場合は、下記の基準で決定する。(昨年度周知済み)

ガイドブックによる規定で選出できないときは、秋季大会の結果で上位の選手を選出する。

同点の順位の場合は、『東京選手権・大阪選手権選出方法(ガイドブックP57)』による。

内容・・・①同点の場合は、より多くゲームを取った選手を上位とする。

②取ったゲーム数が同数のときは、上位ランキング者の敗者を上位とする。

なお、選出されても全国新人合宿に参加できない場合は、次の選手を選出する。